

ラスターデータ編集加工ソフトウェアの仕様について

(1) クリーニング	<ul style="list-style-type: none">①傾き補正が出来る。②図面全体を指定方向へ回転出来る。③ノイズ除去が出来る。
(2) ラスターデータ選択	<ul style="list-style-type: none">①矩形、多角形エリア選択で出来る。②ライン、円、円弧、破線等の要素としてCADライクに簡単に選択出来る。
(3) ラスターデータ編集	<ul style="list-style-type: none">①選択したデータの削除、移動、コピーが出来る。②複数枚のラスター図面を位置調整、オーバーラップ部分を削除して張り合せ出来る。③ラスター文字の編集が出来る。(OCR機能により部分選択、編集)④ある程度、一括でラスターデータの図形部分と文字部分を分離(画層分け)出来る。⑤ラスター図形のかすれ線等を簡単に結合修復出来る。⑥選択したラスターの色変更が出来る。
(4) 歪み補正	<ul style="list-style-type: none">①4点補正が出来る。②多点補正が出来る。
(6) ファイルフォーマット	<ul style="list-style-type: none">①TIF、JPG、PDF(ラスター)の読み込み、書き出しが出来る。②PDF(ベクター)を読み込みDXFに保存出来る。
(7) CAD機能	<ul style="list-style-type: none">①作図が出来る。②テキスト入力出来る。③DXFファイルの読み込み、書き出しが出来る。④CADデータをラスターデータに変換できる。